

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京都江戸東京博物館
所在地	東京都墨田区横綱1-4-1（分館 東京都小金井市桜町3-7-1）
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	江戸東京博物館のリニューアルオープンに向けて、着実な管理・進行が行われている。
	財務の状況	○	休館中ではあるが様々な取組を行っており、収支は黒字となった。
事業効果	事業の実施状況（調査研究等）	◎	資料のデジタル化等を積極的に進めたほか、ハイパー江戸博第2弾のリリースなど、休館中だからこそできる活動が活発に行われた。
	事業の実施状況（展示・教育普及事業等）	◎	・えどはく移動博物館として、出張ワークショップと出張展示を積極的に行い、いずれも目標回数を大きく上回った。普段なかなか江戸博に行けない方向けの伊豆大島での出張展示も素晴らしい。 ・たてもの園は、来園者の満足度が高く、来館者数も増加するなど着実に取り組んでいる。
	運営の実施状況	○	全国歴史民俗系博物館協議会の事務局館としての年次集会の開催や、川崎市市民ミュージアムの収蔵品レスキュー活動の調整に携わるなど、関係機関との連携・協力を行った。
	施設サービスの実施状況	○	休館中であることの表示や、施設までのアクセスをHP等で適切に案内しており、館外展示についても積極的な情報発信が行われている。
方針と目標の達成状況		○	休館中でありながらも、海外との共同研究や展示等、資料収集、調査、研究と魅力ある展覧会を結びつけた取組を実施したほか、資料公開等、発信の努力も続けており、着実な事業の遂行と新たなチャレンジを両立させている。

〔評価基準〕 各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	休館中ではあるが、リニューアルオープンに向けて江戸博の魅力を国内外に対してさらに発信していくような取組に期待したい。

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京都写真美術館
所在地	東京都目黒区三田 1-13-3
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		B	
管理状況	管理の実施状況	○	適切な管理や修理等が行われている。
	財務の状況	○	・経費削減努力を行っており、収支は黒字となっていることから、財務内容に問題はない。 ・会計関連事務について改善が必要な点があった。
事業効果	事業の実施状況（調査研究等）	○	「記憶：リメンブランス」展のようなキュレーションの光る展覧会をさらに継続してほしい。また、そのための活発な調査研究活動を期待する。
	事業の実施状況（展示・教育普及事業等）	△	・収蔵品を活用した多様なテーマの収蔵展を実施していることは評価できる。 ・ワークショップの開催回数が目標を大きく下回る結果となったことは、利用者の利用機会を損ねるものであった。
	運営の実施状況	○	・SNS等で積極的に広報活動を行ったほか、恵比寿映像祭での地域連携も非常に充実したものであった。 ・庭園美術館と関連した上映など他館との連携の試みも評価できる。
	施設サービスの実施状況	○	カフェは料理やスイーツのクオリティが非常に高い。カフェを目指して来る来館者が美術館にも立ち寄ってみようと思える連携施策を希望する。
方針と目標の達成状況		○	達成目標のうち、将来性のある作家の発掘やコレクションの充実・発信などでは成果が見られるが、国際的なネットワークの構築や専門的な研究に基づく視点、多様性を生かした展覧会企画に関してはさらに今後が期待される。

[評価基準] 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり

◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	・スタッフ全員で柔軟に協力しながら、教育普及事業等の事業をより充実できるよう取り組んでもらいたい。 ・一階ホールの稼働率向上のため、多様な上映企画など意欲的な試みを期待したい。

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京都現代美術館
所在地	東京都江東区三好4-1-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		S	
管理状況	管理の実施状況	○	適切な管理運営を行っている。
	財務の状況	○	企画展の集客が当初見込みより良く、経営努力も行っている。収支も大幅な黒字で、財務内容は優れている。
事業効果	事業の実施状況（調査研究等）	◎	「ホックニー展」や「豊嶋康子展」など、現代美術館にふさわしい重要な展覧会を学芸員が継続して企画・実施している点を高く評価したい。ジェンダーなど今日の現代美術の重要な論点に切り込む企画を今後も継続してほしい。
	事業の実施状況（展示・教育普及事業等）	◎	・コレクション展ではこれまでも学芸員の調査研究を生かした興味深い展示が続いていたが、それが入場者目標を上回る結果に結びついたことは非常に喜ばしい。 ・アートブックフェアの開催やアーティストの学校訪問などは大切な取組であり素晴らしい。
	運営の実施状況	◎	サマーナイトミュージアム等の実施に加え、混雑への対応として開館時間を拡大したほか、SNSで混雑状況をアナウンスするなど、利用者の利便性向上に柔軟に取り組んでいることは高く評価できる。
	施設サービスの実施状況	◎	・託児サービスの実施や、手話研修の実施によりホスピタリティ向上に取り組んでいることは評価できる。 ・レストランや図書館などで子どもが楽しめる工夫、飽きさせない工夫が充実しており、子どもがいる家族が一日滞在し、ゆったりと美術を楽しむ空間になっている。
方針と目標の達成状況		◎	達成目標に従って順調に活動を継続しており、学芸員の調査研究に基づく展示や企画の質の高さによる集客力がある。さらに、館内のサービスやホスピタリティの向上に積極的な姿勢があることが評価できる。

〔評価基準〕 各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準とあり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

〔※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり〕
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準とあり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	地域との連携を深めることで、清澄白河の街の核となる存在となっており、来館者数の増加にも寄与している。
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	特になし

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京都美術館
所在地	東京都台東区上野公園8-36
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	災害などの対策もしっかりと行い、危機管理体制が整っている。
	財務の状況	○	経費節減努力をしながら、来場者数増に向けた努力もしており、結果として収支が予算より大幅に改善している。
事業効果	事業の実施状況（調査研究等）	○	・コレクション展は東京都のコレクションに光を当てる素晴らしい企画であり、今後もこのような展覧会を期待する。 ・学芸員の調査研究が、「マティス展」「印象派展」のような展覧会の企画・構成でさらに活かされることが期待される。
	事業の実施状況（展示・教育普及事業等）	◎	・特別展や企画展、グループ展、公募団体展など、多様な形態の展示がコンスタントに開催されており素晴らしい。 ・とびラーの活動も非常に活発であり、教育普及事業においても努力を続けている。
	運営の実施状況	○	・「Museum Start あいうえの」事業等、引き続き地域の文化教育施設と連携を深め、認知症の方のためのプログラムなど、社会問題の解決について美術館ならではのアプローチを試みている。 ・近隣の商業施設と連携したポスター告知は良い企画である。
	施設サービスの実施状況	◎	・ミュージアムショップは魅力的な商品の開発など適切な運営をしており、陳列や商品ラインナップなどが洗練されている。 ・特別展等におけるフォトスポットの設置が来館者の撮影やSNS投稿をうまく促している。
方針と目標の達成状況		◎	質の高い展示や調査研究、とびラーとの連携など、意欲的な活動が際立っており、「世界と日本の名品に出会える美術館」という目標は、入場者数を含めて一定の達成度に達している。

[評価基準]

各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「B」…管理運営が良好であった施設

「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり

◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上

○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上

△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	特になし

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京都庭園美術館
所在地	東京都港区白金台5-21-9
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		S	
管理状況	管理の実施状況	◎	重要文化財の施設管理について、多大な努力が必要となる中、建物や庭園、茶室等の維持管理を適切に行っている。
	財務の状況	○	様々な経営努力により集客力を向上させ、収支は黒字となった。
事業効果	事業の実施状況（調査研究等）	◎	・「装飾の庭」展や「フィンランド・ガラスアート」展は本館や庭園とよく調和した良い企画であり、学芸員の調査研究をさらに生かした展覧会企画を期待したい。 ・「紀要」発行も意義深いものであり、今後も学芸員による論文掲載の継続を期待する。
	事業の実施状況（展示・教育普及事業等）	○	・館の特性を活かした企画展や建物公開展の開催に加えて、障害者や乳幼児とその家族を対象とする「フラットデー」を新たなアクセシビリティ・プログラムとして実施するなど、あらゆる人々に開かれた美術館として鑑賞機会拡大を図っている。
	運営の実施状況	◎	・桜開花期、紅葉期、サマーナイトミュージアムにおける夜間開館など、美術館の魅力を最大限に引き出す試みを続けている。 ・国立科学博物館附属自然教育園やホテル、茶会を通じた区内の大使館と高校の文化交流の場の提供など、地域連携の強化を図っている。 ・SNS投稿の画像のセレクトが良く、投稿に対するエンゲージメント率が非常に高い。 ・ユニークベニューの人員など体制を充実させていくことで新たな可能性が開けると期待される。
	施設サービスの実施状況	◎	・情報のバリアフリー化を進めており、ウェブサイトのリニューアルに際してもアクセシビリティ向上に精力的に取り組んだ。 ・レストランとの連動メニューやミュージアムグッズの充実など、展覧会以外でも美術館を楽しめる試みを行っていて素晴らしい。
方針と目標の達成状況		◎	建物公開展や企画展、地域連携事業など、多様な鑑賞者に来館機会を提供しており、「グランドデザイン」を作成し、誰にでも開かれた美術館の実現に向けて取り組んでいる。

[評価基準] 各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110％以上
○＝「水準とおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90％以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

[※観客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80％以上
○＝「水準とおり」…総合満足度が80％未満50％以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50％未満

特記事項	特に評価すべき点	SNSの効果的な運用や、カフェ、ミュージアムショップ等における工夫を通して、より多くの方がアートに触れる機会を創出している。
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	現状の活動は評価できる。今後もさらに、装飾美術の研究拠点としての整備や調査研究の実践、それに基づく展覧会企画が期待される。

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京文化会館
所在地	東京都台東区上野公園5-45
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		A	
管理状況	管理の実施状況	○	歴史ある建造物の保全に適切に取り組んでおり、来館者の安全にも配慮している。
	財務の状況	○	収益増、経費削減に向けた取組のほか、助成金や協賛金などの外部資金を積極的に活用し、収支が黒字化した。
事業効果	事業の実施状況	◎	・若手音楽家の発掘や教育普及活動に積極的に取り組んでいるほか、社会包摂・社会課題の解決に向けた取組を実施した。 ・国際情勢の影響で一部の海外招聘公演が中止となった中、他の企画で調整を図るなど、高いホール稼働率を確保した。
	運営の実施状況	◎	・夏休み企画等で地域と連携し、上野の街を盛り上げる取組を行った。 ・ホームページやSNS、機関誌「音脈」など、分かり易く充実した内容の情報発信に積極的に取り組んだ。
	施設サービスの実施状況	○	・手話言語の研修実施や、視覚・聴覚障害者の情報サポート推進のための緊急時サインや蝕知図の作成など、多様な方が安心して施設を利用できるような取組に努めた。 ・ショップでは、オリジナルグッズの制作や主催事業や催事と連携した企画販売など、館の魅力向上を図っている。
方針と目標の達成状況		○	良質な公演の鑑賞機会の確保や人材育成、教育普及、他館との連携等、東京文化会館が掲げる方針に対し、堅実かつ着実に取り組んでいる。

〔評価基準〕 各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上
○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	障害のある方のために、完全なバリアフリー対応が難しい場合は追加の誘導員を配置するなど、ソフト面でのさらなるサービス向上等に取り組んでほしい。

東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者管理運営状況評価（二次評価）（案）

評価対象施設	東京芸術劇場
所在地	東京都豊島区西池袋1-8-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日
評価対象年度	令和5年度

項目		評価内容	
二次評価		B	
管理状況	管理の実施状況	△	・創作現場に適したハラスメント講習会の開催など、コンプライアンス向上に取り組んだ。 ・広報媒体の誤記等の事故が複数回発生しているため、再発防止に向けて取り組む必要がある。
	財務の状況	○	・国庫補助金の減少が見込まれていた中、計画的に費用の圧縮を行ったことにより黒字化した。 ・建物管理関連業務について改善が必要な点があった。
事業効果	事業の実施状況	◎	・国際的な舞台芸術の拠点として積極的に国際交流を行ったほか、人材育成事業や様々な社会包摂プログラムについても積極的に取り組んだ。 ・ホールは高い稼働率を維持しつつ、公演作品が読売演劇大賞で優秀作品賞を受賞するなど、高い評価を得た。
	運営の実施状況	○	・国際交流や地域団体、他館との連携を意欲的に行った。 ・SNSでの発信など広報活動にも力を入れて取り組んでおり、多くの方に情報が行き届いている。
	施設サービスの実施状況	○	・館内サインの多言語対応や様々な鑑賞サポートを実施し、バリアフリー化に努めている。 ・委託業者との定期的な連絡会議を実施し、情報共有及び課題解決に適切に取り組み、適切なサービスを提供できている。
方針と目標の達成状況		○	芸術文化の創造・発信の拠点、人材育成の拠点、教育普及の拠点、賑わいの拠点という役割を踏まえて多彩な事業を展開し、大きな成果を挙げている。

〔評価基準〕 各項目の評価
◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね11.0%以上
○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成
△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね9.0%以下
総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価
「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
「A」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
「B」…管理運営が良好であった施設
「C」…管理運営に良好ではない点が認められた施設

※顧客満足度指標に係る評価基準は以下のとおり
◎＝「水準を上回る」…総合満足度が80%以上
○＝「水準どおり」…総合満足度が80%未満50%以上
△＝「水準を下回る」…総合満足度が50%未満

特記事項	特に評価すべき点	特になし
	改善が望まれる点	特になし
	今後取り組むべき点	国際的な創造・発信の中核を担う劇場として、今後の東京芸術祭等においても、上質な公演の実施を期待する。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	東京体育館
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1
指定管理者	(公財) 東京都スポーツ文化事業団グループ
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理を行っている。 ・管理状況そのものは大きな問題はないが、業務収支マイナスになっている点は重くとらえる必要がある。 ・優先受付の実施について、都と十分に調整したうえで対応している。特に、令和7年度には世界陸上やデフリンピック等が行われるため、事前に都と使用施設や期間を確認するとともに、利用団体への案内など、優先受付が円滑に行われるための案内内容を都へ提案し、実施している。 ・施設を有効的に活用できる大型大会等を引き続き誘致するほか、新規の利用について調整を行っている。
事業効果	・個人利用者数、団体稼働率ともに、前年度を上回っているが、個人利用がまだコロナ前の水準には回復していない（コロナ前の通常営業年の約59%）。原因を把握しつつ変化に応じた運営が必要である。 ・体育施設利用料収入が計画より大幅な減となっているのは検討すべき課題と考えられる。 ・バラスポーツ交流会ではデフバレーやシッティングバレーを新たなメニューとして取り入れるなど、デフリンピック開催に向けて、取組を進めている。 ・メインアリーナ、サブアリーナの直近利用の施設利用料割引など、利用率をあげる工夫をしている。
総合評価	B

【記入方法】
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。
3 総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B : 管理運営が良好であった施設
C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・早朝からの準備等時間外利用を認めるなど利用者の要望により沿った運営をしている。
	改善が望まれる点	・情報セキュリティについてe-learningは一定の評価はできるが、一般の企業では、当該研修を全員が受講していることや、標的型攻撃メール対策訓練等の実践的対応もしているため、参考にする必要がある。 ・ドライヤーや水着脱水機について、車椅子利用者でも利用しやすいよう設置を工夫して欲しい。 ・プールにおいては家族使用も多いが、異性介助に対応できる更衣室が1か所（2室）しかない。車いすユーザーも多目的更衣室の利用が多いが、1か所（2室）しかない、利用が重なって使いにくい実態があるため、十分な数を増設すべき。
	今後取組むべき点	・近時民間の格安スポーツ施設では、セルフエステ等手軽にできる多彩なサービスを取り入れている。公的スポーツ施設としてできない部分もあるだろうが、可能性のあるものには取り組んでいただきたい。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	駒沢オリンピック公園総合運動場
所在地	東京都世田谷区駒沢公園 1－1
指定管理者	(公財) 東京都スポーツ文化事業団グループ
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・利用者が安全で快適に利用できるよう、適正な施設管理・運営を行っている。 ・多様なスポーツ施設が集中しているが、公園の管理者とよく連携し施設を運営している。施設は清潔に管理されている。 ・外注している部分は問題はないが、直営部分の内部統制に脆弱性が見られる。 ・グループ従業員による不正な経理処理については、本来は役割分担すべきところを1名体制で対応しており、チェックする機能が不十分であった。
事業効果	・多くの事業を行っているが、定員に満たないものが多く、今後整理統合及びより魅力のあるものとする取組が望まれる。 ・利用状況に関しては、個人利用者数、団体稼働率ともに、前年度を上回っているが、体育施設利用料収入が前年度より減少している。 ・公園を利用した野外活動（ウォーキング、ウォークラリー、オリエンテーリングなど）が安心して実施できる。 ・トレーニングルームでは外国人のスタッフを配置し利用者対応を行っているほか、施設内の注意事項を英文化して掲示するなど、多国籍の方でもストレスなく利用ができるように努めている。さらに、障害者も安心して施設を利用できるようパラスポーツ指導員のスタッフを常駐させている。
総合評価	C

- 〔記入方法〕
- ①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。
- 3 総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
- S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
 - A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
 - B : 管理運営が良好であった施設
 - C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・雨天時の施設管理について、一部施設での雨漏りなどが利用に影響がないよう処理を的確に行っている。
	改善が望まれる点	・内部統制が弱く、経理面のリスクに対しても脆弱性が見られる。財務的にも改善の余地が多く、経営層を含め改善に向けた取組が必要。 ・グループ従業員による不正経理については、法令等の遵守を徹底するとともに、再発防止に向け、事務処理等の改善を実施すること。
	今後取組むべき点	・シニアの利用が多いが、シニア向けの講座に対する参加率が低く、今後アンケート結果等を踏まえて、ニーズに応えられるよう検討されたい。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	東京武道館
所在地	東京都足立区綾瀬3-20-1
指定管理者	(公財) 東京都スポーツ文化事業団グループ
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理運営を行っている。 ・施設の空いた日には地域の学校運動部活動に貸し出しているなど、地域スポーツの振興に貢献している。 ・武道場の床のささくれ研磨を定期的に行い、利用者の安全に配慮している。
事業効果	・個人の利用については昨年度より増加はしているが、コロナ前の水準までは達していない。 ・34のスポーツ振興事業のうち、28事業で参加率が50%を上回っていることは評価できる。 ・料金制度や区分の変更等積極的な取組がみられる。 ・トレーニングルームの改修にあたり、障害のある人や高齢者も利用しやすい環境整備を行った。 ・自主事業に意欲的に取り組み、新しいイベントなどを企画、実施している。
総合評価	B

- 【記入方法】
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。
- 3 総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
- S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
 - A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
 - B : 管理運営が良好であった施設
 - C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・団体の利用率が増加傾向にあり評価できる。 ・スポーツ振興事業において、目的が明確なものは定員を満たしている。今後とも質の高い事業が望まれる。 ・武道以外のスポーツの実施や、地域の学校運動部活動の推進に貢献している。
	改善が望まれる点	・自主事業の参加率が軒並み低く、改善が望まれる。
	今後取組むべき点	・トレーニングルームについて、認知度向上のための情報発信の強化。高齢者や障害のある方を含め、リニューアルした施設がどんな方が使える施設であるのか、また、設備について、どのようなものが設置されているか等について、映像や写真などを用いて積極的に分かりやすく発信すべきである。 ・バリアフリー等利用しやすい環境の整備については、利用者ニーズを把握し、適切な情報発信を行うなど、施設管理者で対応可能なソフト面を含め面的に対応することが事業効果を高めるうえで重要。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	有明テニスの森公園テニス施設
所在地	東京都江東区有明2-2-22
指定管理者	有明テニス・マネージメントチーム
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・大型イベント開催時の自営消防活動の中核要因の配置に関する考え方への理解以外は、適切に管理が実施されており、事故も発生していない。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理運営を行っている。 ・緊急時のアクションマニュアルの更新なども適切に行われている。
事業効果	・全面開業後順調に利用者が増加し、適切に運営されている。 ・有明コロシアムでは、テニス以外のいくつかの種目の利用があり、利用人数も増えている。 ・近隣幼稚園等の地域交流を積極的に行っている点は評価できる。 ・駐車場事業で立哨警備を実施するなど、利用者サービスを適切に実施している。
総合評価	B

- 【記入方法】
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。
- 3 総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
- S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B : 管理運営が良好であった施設
C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・近隣幼稚園など、近隣施設等との交流の取組は評価できる。
	改善が望まれる点	・色々対策はされているが、アンケート上は個人、団体とも案内表示等について満足度が低く、根本的な対策が必要である。 ・大型イベント開催時の自営消防活動の中核要因の配置に関する考え方については、しっかりとした理解が必要
	今後取組むべき点	・人工芝から排出されるマイクロプラスチック対策 ・テニスの裾野拡大につながる、子供向けのテニス型ニュースポーツの活用

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	若洲海浜公園ヨット訓練所
所在地	東京都江東区若洲3-1-1
指定管理者	若洲シーサイドパークグループ
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、ほぼ評価水準通りに適正な管理運営を行っている。 ・海洋浮遊ごみの処理について、構成団体のリソースを活用して効率よく取り組み、適切に施設を管理している。
事業効果	・利用者も増加し、スポーツ振興事業の中では定員を上回る参加者があるものも多く、施設利用料収入も増加しており今後に期待できる。 ・レスキュー技術が未熟な団体に対して安全講習会を開催するなど、初心者や障がい者が安心して利用できる。 ・「ヨット教室」のほか様々なプログラムを積極的に開催するなど、スポーツ振興に貢献している。 ・若洲地区（海浜公園・キャンプ場・ヨット訓練所）で連携したイベントなど、公園等周辺施設との連携協力した取り組みを進めている。
総合評価	B

【記入方法】
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。
3 総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B : 管理運営が良好であった施設
C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・初心者や障がい者を対象とした「ヨット教室」などで、安全な乗船環境を提供している。 ・海洋浮遊ごみの処理など、環境への配慮の効率的な取組
	改善が望まれる点	・アンケート調査結果で、職員の対応に「やや不満」が個人利用者で21.4%あり、課題を洗い出し、改善してほしい。また、清掃管理についても団体利用者の回答と個人利用者の回答とに乖離があることも含め、原因を分析してほしい。
	今後取組むべき点	・案内表示に対する満足度について、アンケート結果が低いので、対応が望まれる。 ・構成団体のNPO法人について、NPO法人会計基準により財務・会計状況の報告をしてほしい。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	武蔵野の森総合スポーツプラザ
所在地	東京都調布市西町290-11
指定管理者	東京スタジアムグループ
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・省エネルギー型施設の特徴を活かし、適切に管理がなされている。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理運営を行っている。 ・利用者と積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢がうかがえる。 ・ジム及びプール従事者については、原則全員がパラスポーツ指導員養成講習を受講しているほか、障害者雇用を積極的に行っている。
事業効果	・スポーツ振興事業、自主事業ともに前年度より参加者が増えており、事業効果が上がっていることが確認できる。更に参加者の増加が望まれる。 ・詳細な「利用者満足度評価調査 報告書」で分析がまとめられるなど利用者ニーズの把握が優れており、利用状況の改善に役立てられている。 ・利便性の向上や、学校と連携したアートイベント、地域の福祉施設との連携等幅広く積極的な運営を行っている。
総合評価	S

【記入方法】
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

3 総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B : 管理運営が良好であった施設
C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・施設の管理運営はほぼ軌道に乗ったものと考えられる。施設の持つ効用を十分に活かしつつあり、更に伸びる余地はある。 ・施設が清潔で、利用者から好評を得ている。 ・施設利用希望団体へのヒアリングや、希望利用日が利用不可の場合の代替日程の提案等、きめ細かい対応は評価できる。 ・駐車場の利用状況について、SNSで発信されており、利便性の向上が図られている。
	改善が望まれる点	・多目的スペースについては、現在も様々な努力はしているが、利用率としては一層向上が必要。
	今後取組むべき点	・高齢化等地域の状況を踏まえた、高齢者や障害者のeスポーツ等を通じた社会参加活動の支援など

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	海の森水上競技場
所在地	東京都江東区海の森3-6-44
指定管理者	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・自然環境に左右される施設を問題なく管理している。施設の提供においても目標を上回る成果を達成している。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理運営を行っている。 ・大会の開催数が増え、安定した施設運営が行われている。
事業効果	・前年度に比べ団体稼働率が5%増えている。施設利用料収入については当年度計画を上回り、前年度より1.4倍程度となっており収益力は向上している。 ・利用者増加に向けて様々な施策に取り組んでいる。 ・スポーツ利用の多角化のほか、音楽フェスの開催や、会議室や宿泊室、撮影での利用など利活用を工夫している。 ・各分野での努力は見られるが、来場者数増加に向けて成果が出るには更なる継続的努力が望まれる。
総合評価	A

【記入方法】
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

3総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B：管理運営が良好であった施設
C：管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・毎日の巡回点検をはじめ、利用者が安全に施設利用が出来るよう保守点検をしている。 ・試行錯誤をしながら、音楽フェス等、スポーツ以外の利用にも積極的に取り組み、利用が進んでいる。
	改善が望まれる点	・スポーツ振興事業及び自主事業の参加率について向上を図られたい。 ・アンケート調査で、職員の対応について団体利用者の満足度が低いため、改善を図られたい。
	今後取組むべき点	・水上スポーツの一般利用などと、ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点としての活動についてバランスを取りながら行ってほしい。 ・様々な水上スポーツが体験できることについて、一層広報・PRを拡大させてほしい。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	夢の島公園アーチェリー場
所在地	東京都江東区夢の島2-1-4
指定管理者	アメニス夢の島グループ
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理運営を行っている。 ・アーチェリーのほか、芝生広場を活用したニュースポーツなど、他種目の利用も進めている。 ・収支状況を含め安定した管理運営がなされている。 ・アンケート調査で安全管理について「やや不満」が50%とあるため、利用者との意見交換を続けて適切に取り組んでほしい。
事業効果	・計画数20大会に対して、約2倍の大会を開催し、オリンピックのレガシー施設としての大会の誘致や運営については優れているが、一般利用についてはまだ課題が多い。 ・団体稼働率は前年度とほぼ同じ（30%強）であり、稼働率を上げる一層の工夫が必要と考えられる。 ・周辺連携事業によって、施設の知名度は上がっていると推察される。 ・他種目の利用や多様なイベント・プログラムの企画をすすめ、施設の利用を進めている。
総合評価	B

【記入方法】
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

3総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B：管理運営が良好であった施設
C：管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・大会誘致やその管理の状況のほか、施設の利用率を高める努力をしている。
	改善が望まれる点	・屋外施設の特徴を活かした新たな施策の検討や実施
	今後取組むべき点	・スポーツ振興事業、自主事業については、一層の充実を図ってほしい。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	カヌー・スラロームセンター
所在地	東京都江戸川区臨海町6-1-1
指定管理者	株式会社協栄
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理運営を行っている。 ・特殊な施設をうまく管理している。メディアを通じた発信なども含め、施設の提供も充実している。 ・営業時間外の施設利用の要望も増えてきているが、柔軟に対応している。アウトドアイベントや水上競技以外の競技団体の利用に対応したほか、TVなどメディアのロケ収録等での施設の利用ニーズが増えてきている。
事業効果	・多くの事業にチャレンジしており、スポーツ振興事業、自主事業においても成果が出始めている。 ・特殊な施設であるにも関わらず、様々な工夫した事業を展開し、前年度よりも参加者数が増えている。スポーツ振興事業及び自主事業全体の収支のバランスもとれている。 ・身体障害者が乗艇したまま、水上⇄陸上の乗下船をするためのスロープを常時設置する等、様々な利用者に配慮した対応を行っている。 ・水上競技以外への貸し出しやロケ地利用、ランニングステーション、キャンピイベントなど、新たな施設の活用を多く行っている。 ・利用促進のための広報活動を積極的に行っている。
総合評価	S

- 〔記入方法〕
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。
- 3総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
- S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
 - A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
 - B：管理運営が良好であった施設
 - C：管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・全体的に意欲的且つ積極的な施設運営が行われている。自主事業を積極的に実施するなど、利用者を増やす取組を行っている。 ・ラフティングツアーについて、障害のある方など特別な配慮が必要な場合は個別に相談が可能である旨を明示している。施設側からどのような形であれば体験できるか等を利用希望者に説明している。障害のある方への合理的配慮として他施設にも取り入れてほしい優れた対応がされている。 ・独自の「利用者アンケート」を行い、その結果から分析を行って「課題の抽出→対応」をまとめ、改善に役立てる準備を行っている。 ・施設を常に清潔に保つ努力を続けている。
	改善が望まれる点	・ラフティングツアー参加者など個々の事業のアンケートは多くの回答を得ている。一方、共通アンケートの回答数が少ないため改善をする必要がある。
	今後取組むべき点	・引き続き、一層幅広い施設の利活用を一層進めていただきたい。また、水上スポーツの楽しさや現在取り組んでいる水難事故防止のためのプログラムなどをより多くの利用者に知ってもらえるよう、広報活動に努めていただきたい。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施 設 名	大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場
所 在 地	東京都品川区八潮4-1-19、大田区東海1-2-1
指 定 管 理 者	アメニス海上南部地区グループ
指 定 期 間	令和5年4月1日から令和8年3月31日まで
評 価 対 象 年 度	令和5年度

項目	評価の観点
管 理 状 況	・全体として経費の削減に努めるなど、問題なく管理が行われている。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理運営を行っている。 ・事故発生時に都への報告がやや遅れたことがあった。 ・清掃や収支状況を中心に安定した管理運営がなされている。 ・これまで施設の利用がない団体にも新たに働きかけるとともに、また、全国規模の大会を複数誘致するなど施設の提供について工夫がみられる。
事 業 効 果	・大会誘致は積極的に行っているが、団体稼働率が少ない。 ・団体稼働率は前年度とほぼ同じであるが、施設利用収入は増となっている。 ・利用者数は当初の計画に届かないながらも、幅広く利用者確保に向けてアプローチしている。 ・親子での参加や子どもも楽しめるスポーツ体験などの企画を実施している。
総 合 評 価	B

〔記入方法〕

①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

3総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。

- S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B : 管理運営が良好であった施設
C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特 記 事 項	特に評価すべき点	・施設の利用促進に取り組んでおり、自主事業も展開している。 ・利用状況を踏まえたラクロスのゴールの追加設置や、夜間利用者のためのセンサーライトの設置等を利用状況を踏まえて積極的に行っており、一層の集客が期待される。 ・オリンピックのレガシー施設としての品位が保たれている。
	改善が望まれる点	・スポーツ振興事業及び自主事業について、より一層充実するように取り組んでほしい。
	今後取組むべき点	・当施設がある大井ふ頭中央海浜公園や、近隣の都や区の施設と連携を深めて、一体的な取組を一層進めてほしい。 ・現在改修中の施設のホームページについて、ホッケー場の情報が分かりやすく使いやすいものとして欲しい。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	東京アクアティクスセンター
所在地	東京都江東区辰巳2-2-1
指定管理者	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・情報セキュリティ事案のほかは、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理運営を行っている。 ・利用者のアンケート調査を実施するなど、利用者の要望に対応した施設運営を心掛けている。 ・環境への配慮の面で、エネルギー消費の効率化に向けた施設としての取組を積極的に行っている点は、他施設にも共有すべき好事例
事業効果	・事業開始年度であるが、ほぼ予定通りの事業が実施できており、高品質の事業環境を提供している。 ・アンケート調査のほか利用することによってみえてきた課題について、利用者のニーズを踏まえた積極的な取組が迅速に行われており、利便性の向上や収益確保に繋げている。 ・様々な対象者に向けた事業を実施していて、競泳だけでなく、アーティスティックスイミング、飛込、水球、オープンウォータースイミングといった様々な水泳種目に取り組んでいる。
総合評価	A

【記入方法】
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。
3総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
S：管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A：管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B：管理運営が良好であった施設
C：管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・早期利用や施設内の案内サインの充実など、利用者の要望を迅速に取り上げ取り組んでおり、適切に施設運営を行っている。 ・都民への供用開始1年目の中で、試行錯誤しながらも積極的に施設運営に取り組んでいる。
	改善が望まれる点	・既に取組は進めているが、施設内の案内サイン充実について、引き続き継続して取り組んでほしい。
	今後取組むべき点	・大規模な施設であるため、駅など外から施設の敷地に来た際に、入口を含む施設の全体案内図があると利用者の利便性が高まる。各動線に案内表示を充実させるなど関係者と連携して取り組んでほしい。 ・飲食に関しては、臨時売店の導入など一歩ずつ取組を進めているが、事業者を呼び込むための来場者数の増などに一層の取組が求められる。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	東京都パラスポーツトレーニングセンター
所在地	東京都調布市西町376-3
指定管理者	(公社) 東京都障害者スポーツ協会グループ
指定期間	令和5年3月1日から令和10年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理運営を行っている。 ・一部事務処理の不備や、避難経路の案内等に不備が見られる。安全確保や・緊急時対応といった利用者の安全に関わる部分が十分に実施されていない点は早急に改善する必要がある。 ・トレーニング室には、東京都や公益財団法人日本パラスポーツ協会等が主催するパラスポーツ指導員養成講習会又はこれに類する講習会を受講している者を常時1名以上配置している。
事業効果	・実質的に開業1年目でありまだ稼働率が低く、施設の認知度の向上等今後に期待したい。 ・さまざまな事業がスタートしたばかりであるが、利用者数は増えてきている。今後も施設が有効利用できるような運営努力を継続してほしい。 ・ポッチャやデフバレーなど、定期的に利用する団体が増えており、体育館の利用率が進んでいる。
総合評価	B

〔記入方法〕
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

3 総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B : 管理運営が良好であった施設
C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・パラスポーツに特化したトレーニングセンターは、全国で初の取組であり、既存施設を改修し、制約があるなかでも試行錯誤しながら運営している。
	改善が望まれる点	・車で来る際の入り口の標識が分かりづらく、工夫が必要。 ・HPで、施設で何ができるのか、どのような人が使用できるのか、どのような備品や器具があるのか分かるように、情報を発信して欲しい。
	今後取組むべき点	・より多くの競技団体に利用されるよう、東京都内のパラスポーツ競技団体に加え、中央競技団体や、パラスポーツに取り組むスポーツ関係団体に対して、利用の裾野を拡大していくための情報発信の工夫が必要である。 ・パラスポーツ用具で貸し出しできる備品を充実させるべきである。また、義足ユーザーが使いやすいようにロッカーサイズの一部見直し（大型化）など検討をお願いしたい。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	東京都障害者総合スポーツセンター
所在地	東京都北区十条台1-2-2
指定管理者	(公社)東京都障害者スポーツ協会
指定期間	平成28年4月1日から令和8年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・利用者が安全で快適に利用できるように、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理運営を行っている。 ・施設及び設備の管理を適切に行っている。 ・2年連続で情報セキュリティ研修が実施できていない点や事務処理の一部不備については、今後改善の必要がある。 ・近隣の特別支援学校、療育医療センター等と連携し、年に1回合同での防災訓練実施をしているほか、階段昇降機など特別な避難用具の取扱い方法の研修を行っている。
事業効果	・適切に事業は行われているが、個人利用者数などがまだコロナ前の水準には至っていない。 ・利用者数が前年度から大きく増加している。55種類のスポーツ教室を実施しているが参加者数は大幅に増えている。 ・利用者の満足度が高い水準にある。 ・運動相談が増えて、利用促進が図られている。個人で気軽にスポーツをさらに楽しめるように工夫してほしい。
総合評価	B

【記入方法】
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

3 総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。
S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B : 管理運営が良好であった施設
C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・利用者へのサービス向上の取組を日常的かつ適切に行っている。 ・障害者スポーツのセンター機能として、都内各地域のハブとなる施設として一つのモデルになっている点は評価できる。 ・事業を通じて障害者と健常者のスポーツを通じた交流の場としての機能を果たしている。
	改善が望まれる点	・ホームページについて、施設の利用可否が分かりづらい。直近3日間程度の空き状況をみられるようにするなど、情報発信の向上に期待したい。 ・物品を適切に管理し、古くなった物品については適切に廃棄をし、更新を進めてほしい。
	今後取組むべき点	・新規の利用者を獲得するために施設の紹介を23区のスポーツ関係者に積極的に行って欲しい。 ・近隣に国のナショナルトレーニングセンターが立地している。トップレベルのパラアスリートの活動に関する情報収集などを行い、障害者専用スポーツ施設としての更なる機能の向上を図っていただきたい。

都立スポーツ施設等指定管理者評価委員会
二次評価

施設名	東京都多摩障害者スポーツセンター
所在地	東京都国立市富士見台2-1-1
指定管理者	(公社) 東京都障害者スポーツ協会
指定期間	平成28年4月1日から令和8年3月31日まで
評価対象年度	令和5年度

項目	評価の観点
管理状況	・利用者が安全で快適に利用できるように、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理運営を行っている。 ・施設、設備が適切に管理されて、清潔が保たれており、アンケート調査でも利用者の満足度が高い。 ・施設内では、障害特性にあわせた職員が配置されている。一人で来た利用者も対戦型スポーツを楽しめるよう、スタッフが支援している。また、プールではてんかん発作などが起こりやすい障害のある人もいる点などを考慮し、監視人員を多めに配置している。
事業効果	・コロナ前の水準には至っていないが、個人利用促進を図ることで、利用者数が前年度から大きく増加している。 ・43種類のスポーツ教室を実施しているが参加者数も着実に増えている。 ・地域振興のための事業を増やし、施設の認知度を上げる努力も行われている。 ・新規事業として、パラカヌー体験やeスポーツ教室などを実施したほか、コロナ禍ではじめてオンラインでも参加できる教室を継続して開催している。
総合評価	A

〔記入方法〕
①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

3 総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。

- S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
- A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
- B : 管理運営が良好であった施設
- C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	・重度障害の方のプール利用等について、適切な配慮や安全対策を実施している。 ・重度障害の方のニーズを的確に把握して、スポーツに取り組む機会を提供している。 ・利用者の特性を考慮した防災対策など適切に施設管理を進めている。
	改善が望まれる点	・情報セキュリティ研修について、必要な教育研修等を実施し、適正な個人情報の管理に努められたい。 ・利用者アンケートで、案内表示についての満足度が特に個人利用で低い。より分かりやすい案内表示となるように工夫してほしい。
	今後取組むべき点	・既存の利用者へのサービスを維持しつつも、新規の利用者をさらに増やせるよう、取組を進めてほしい。